

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 青葉の里作成日: 令和元年10月18日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議のメンバーが固定化して内容も画一化傾向になっているので、新しい委員を増員し、新しい風を吹き込み、会議が活性化していくことに取り組んでいく。	参加委員を有識者、知見者(薬剤師、公民館館長、複数の民生委員、元家族等)に参加を要請して、ホームの繁栄だけでなく参加委員にとっても知識や情報を習得する会議になるように取り組み、地域から信頼されるグループホームとして、地域の問題解決を目指していく。	12ヶ月
2	2	事業所と地域とのつきあい	ホームの行事にボランティアや地域の方の参加を得ているが、地域の行事や活動に職員が積極的に参加し、地域と信頼関係を構築し、頼りになるグループホームを目指していく。	地域で困っている事、問題点などを運営推進会議などで検討し、地域住民と協力して高齢者の介護相談や老々介護の見守り、独居老人の安否確認などに積極的に取り組み、グループホームや認知症についての啓発活動にも取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。